

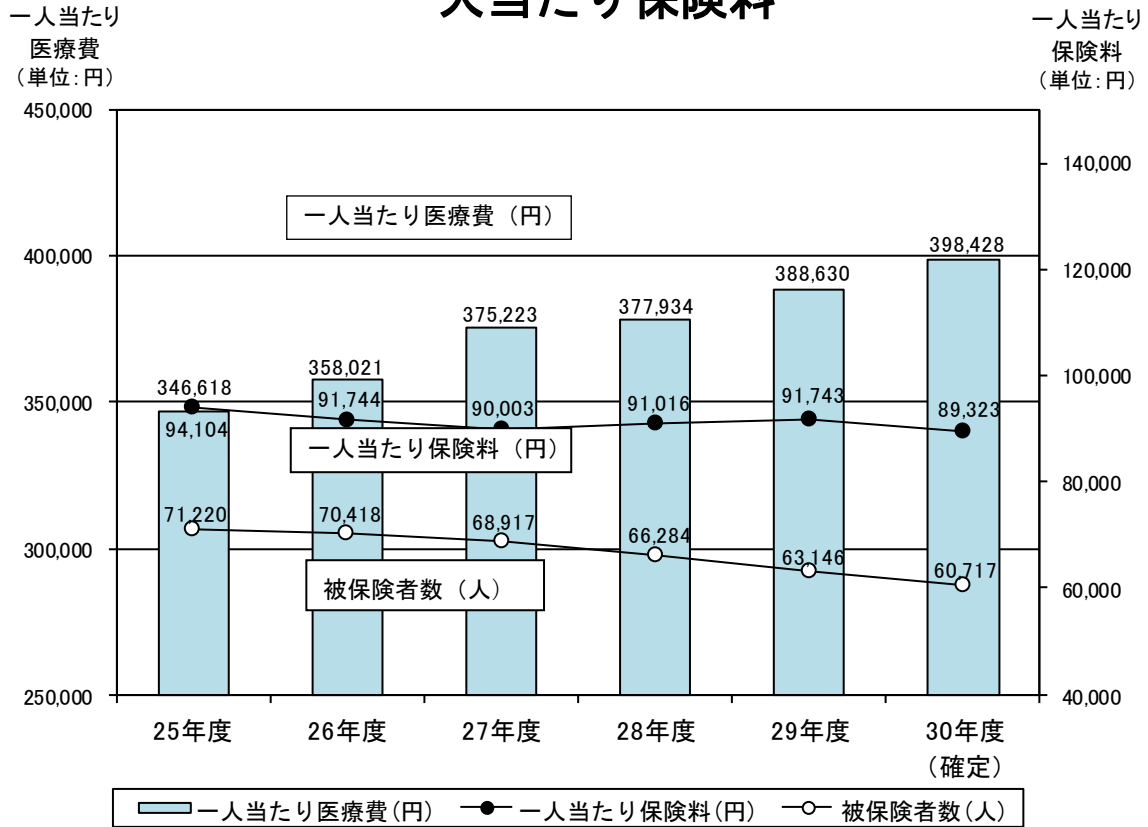
令和元年度 第2回

明 石 市 国 民 健 康 保 険
運 営 協 議 会 基 礎 資 料

目 次

被保険者の一人当たり医療費と一人当たり保険料	・ ・ ・ ・ ・ P	1
医療費総額、レセプト件数の推移	・ ・ ・ ・ ・ P	2
人口に占める被保険者数	・ ・ ・ ・ ・ P	3
所得区分別の内訳	・ ・ ・ ・ ・ P	4
所得段階別の世帯数	・ ・ ・ ・ ・ P	5
一人当たりの所得額の年次推移	・ ・ ・ ・ ・ P	6

被保険者の一人当たり医療費と 一人当たり保険料



*このグラフは被保険者数、一人当たり医療費及び一人当たり保険料について平成25年度から平成30年度までの年度ごとの推移を表したものです。

1. 被保険者数について

75歳に達して国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行する者が多く、毎年減少しています。特に被用者保険の適用が拡大された平成28年度以降はその傾向が強くなっています。

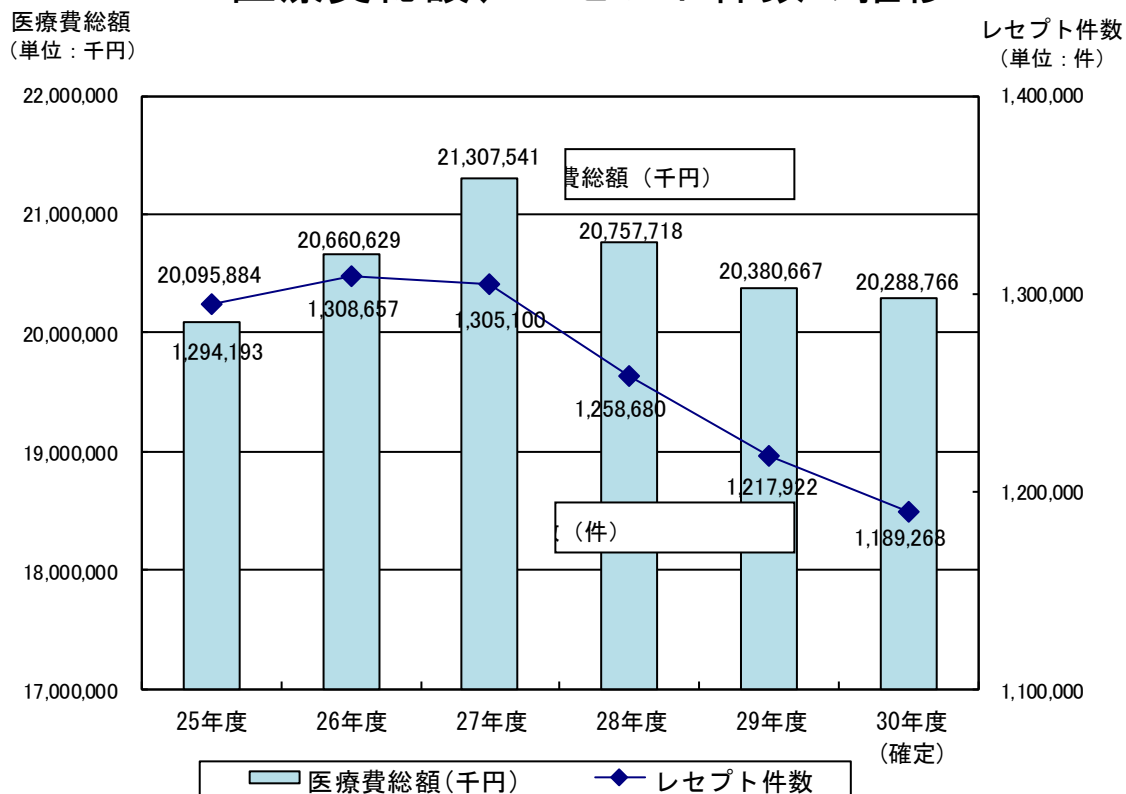
2. 一人当たり医療費について

高齢化の進展と医療の高度化により、年々増加しており、今後もその傾向が続くものと見込んでいます。

3. 一人当たり保険料について

平成25年度以降は保険料の軽減制度が毎年拡充され、減少が続いてきました。平成28年度以降は、被用者保険の適用拡大に伴う低・中所得者層の国民健康保険からの脱退や景気の回復により、平均所得が上がった影響で、増加に転じていましたが、平成30年度は、資産割の廃止に伴い保険料率を改定したため、減少に転じました。

医療費総額、レセプト件数の推移



*このグラフは兵庫県国民健康保険（明石市）が保険医療機関等に支払った医療費総額（保険者負担額）と、レセプト件数の年度毎の推移を表したものです。

1. 医療費総額について

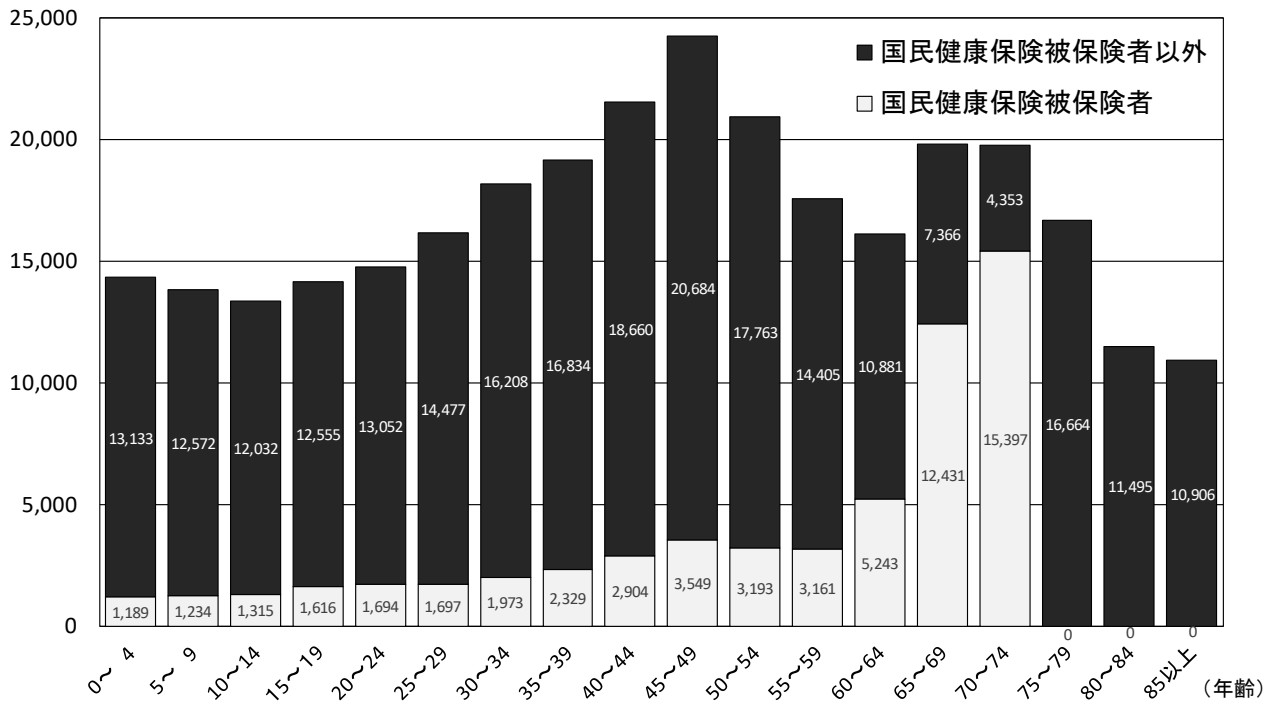
平成27年度までは団塊世代の退職に伴う国民健康保険への加入やそれに伴う高齢化、高額薬剤による治療などの医療の高度化による影響で、毎年増加してきました。しかし、被保険者数の減少傾向が強くなった平成28年度からは減少に転じています。

2. レセプト件数について

平成26年度までは医療費総額と同様の理由により増加してきましたが、平成27年度は若干の減少に転じ、平成28年度からは急激に減少しています。

(単位:人)

人口に占める被保険者数



	39歳以下	40歳～64歳 (介護保険第2号被保険者)	65歳～74歳 (前期高齢者)	75歳以上 (後期高齢者)	合計
①国民健康保険被保険者	13,047人	18,050人	27,828人	0人	58,925人
②明石市の人口	123,910人	100,443人	39,547人	39,065人	302,965人
割合 =①÷②	10.53 %	17.97 %	70.37 %	0.00 %	19.45 %

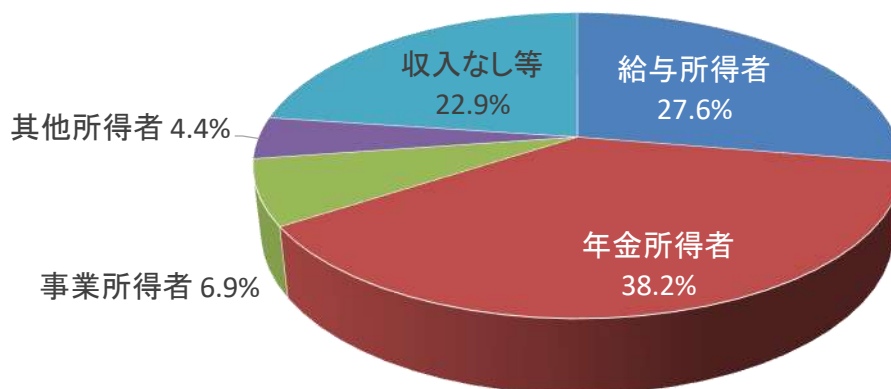
平成31年3月末日 現在

人口に占める国民健康保険被保険者の割合は19.45%（75歳以上の後期高齢者を除いた場合は、22.33%です。）に過ぎません。

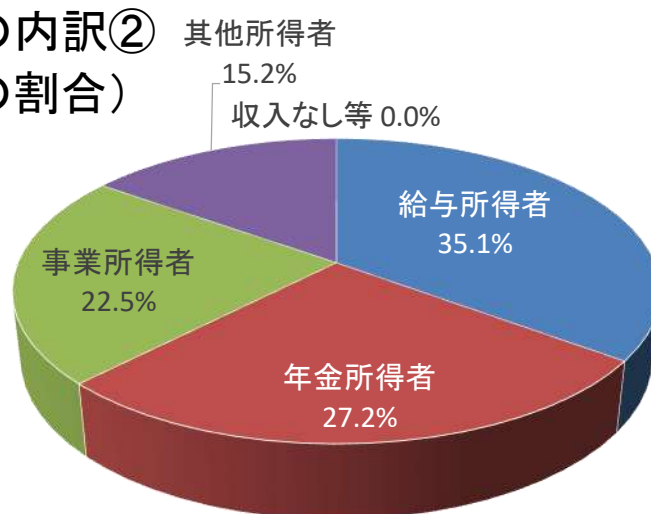
しかし、65歳以上74歳以下の場合、人口に占める国民健康保険被保険者の割合は70.37%に上り、国民健康保険被保険者全体の47.22%を占めています。

今後は、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行に伴う影響により、被保険者数は減少し、特に団塊の世代が75歳の年齢に到達する令和4年度から6年度にかけて、減少者数がピークを迎えるものと見込まれます。

所得区分別の内訳① (被保険者数の割合)



所得区分別の内訳② (所得総額の割合)



所得区分別の内訳

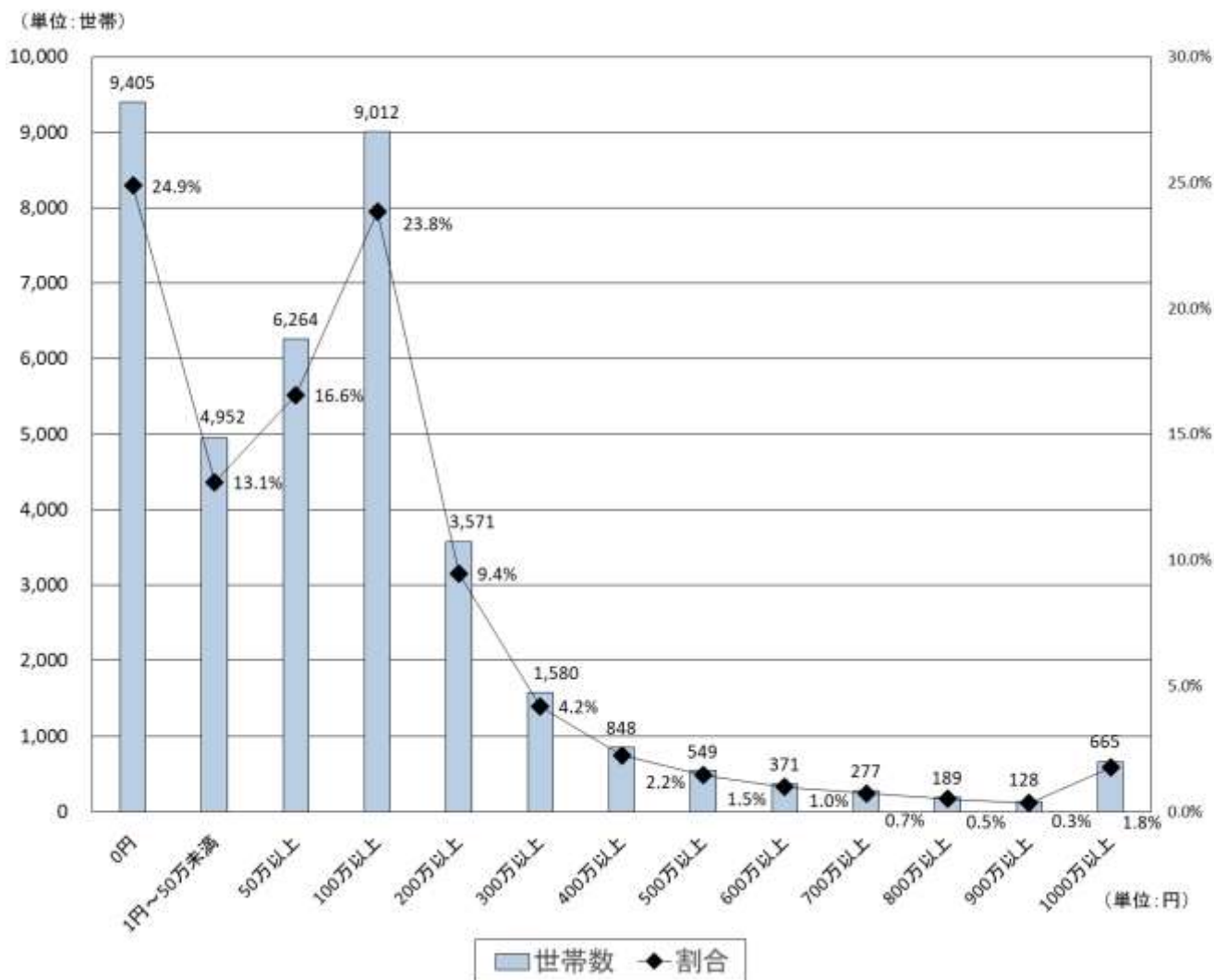
	被保険者数 (割合)	所得総額 (割合)
給与所得者	16,270人 (27.6%)	16,252,123,111円 (35.1%)
年金所得者	22,508人 (38.2%)	12,595,667,121円 (27.2%)
事業所得者	4,069人 (6.9%)	10,404,901,487円 (22.5%)
其他所得者	2,605人 (4.4%)	7,010,537,731円 (15.2%)
収入なし等	13,473人 (22.9%)	0円 (0.0%)
合計	58,925人 (100.0%)	46,263,229,450円 (100.0%)

平成31年3月末日 現在

被保険者のうち、年金所得者が最も多く、全体の38.2%を占めていますが、所得総額に占める割合は27.2%となります。

また、収入のない人が全体の22.9%を占めています。

所得階層別の世帯数



平成31年3月末日 現在

*このグラフは国民健康保険に加入している世帯（37,811世帯）ごとに、世帯主及び被保険者の平成29年中の所得額を合計し、階層毎に集計したものです。

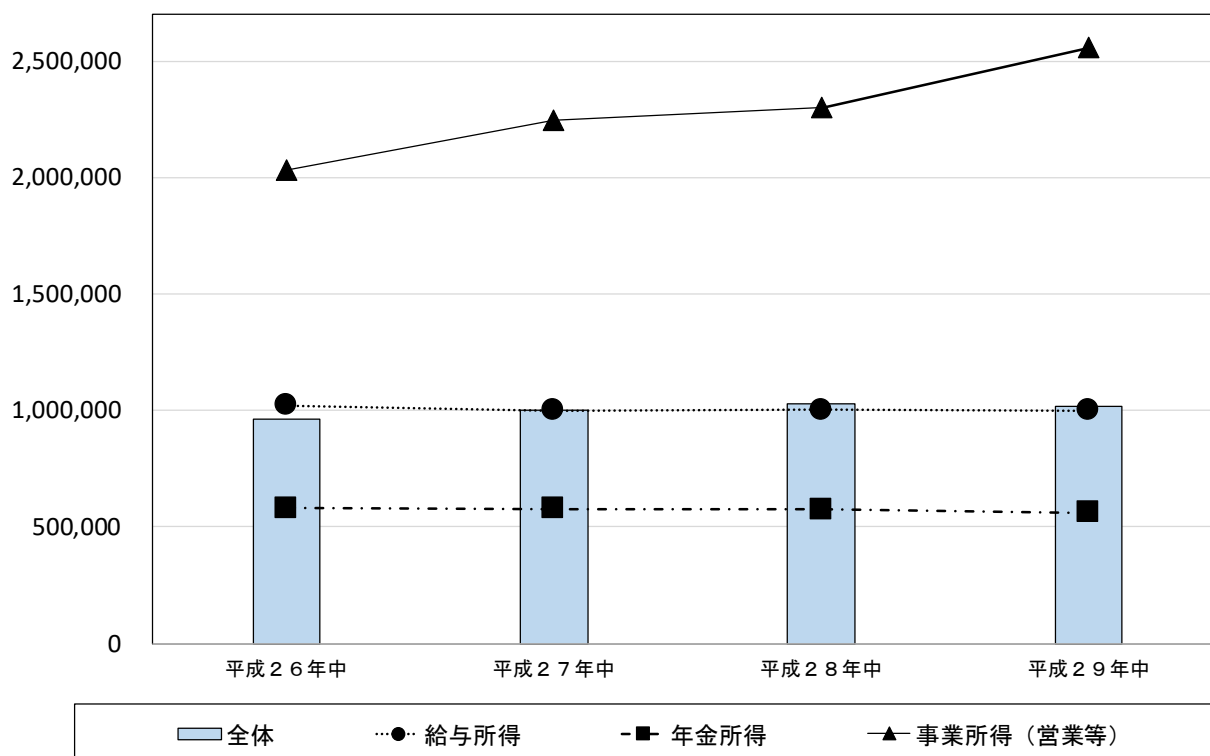
所得額0円の世帯が9,405世帯で、全体の24.9%を占めています。

所得額が0円から100万円未満までの世帯数を合計すると20,621世帯となり、全体の54.5%に上ります。

また、所得額が100万円以上200万円未満の世帯は9,012世帯で、全体の23.8%を占めており、国民健康保険に加入している世帯の大半は所得水準が低いことが分かります。

一人当たりの所得額の年次推移

(単位：円)



各年3月末日 現在

一人当たりの所得額

	平成27年度 (平成26年中)	平成28年度 (平成27年中)	平成29年度 (平成28年中)	平成30年度 (平成29年中)
給与所得	1,022,462円	1,000,508円	1,001,899円	998,901円
年金所得	580,867円	576,855円	573,335円	559,608円
事業所得(営業等)	2,033,357円	2,242,941円	2,300,107円	2,557,115円
全体	959,929円	1,003,221円	1,030,499円	1,017,848円

*このグラフは収入がある被保険者※における一人当たりの所得額(平均所得額)の推移を表したものです。

※①収入がある被保険者については、給与収入が651,000円未満の場合等、所得額が0円となる場合でも計算に含んでいます。②収入がない被保険者を計算に含んでいません。

平成27年度以降、一人当たりの事業所得は増加傾向にあるものの、一人当たり年金所得は少しずつ減少しています。

また、平成30年度では、一人当たりの給与所得も減少した影響により、全体の一人当たりの所得額が減少しました。